

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期海田町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

広島県安芸郡海田町

3 地域再生計画の区域

広島県安芸郡海田町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、1990年の30,744人をピークに減少しており、国勢調査によると、2010年には28,475人まで落ち込んでいる。その後、2025年4月末時点で、町の人口は30,720人（住民基本台帳）ではあるものの、直近の月別の人口動態ではマイナスの月もあることから、今後の動向を注視する必要がある、将来的な人口減少も回避できない状況にある。国立社会保障・人口問題研究所によると、2060年には総人口が23,262人となる見込みである。

年齢3区別の人口動態をみると、年少人口（0～14歳）は1995年の5,408人であったが、2015年には4,185人となっている。一方、老年人口（65歳以上）は1995年の2,974人から2015年には6,564人と増加の一途をたどっており、少子高齢化がさらに進むことが想定されている。また、生産年齢人口（15～64歳）も1995年の21,633人から2015年には17,916人となっており、減少傾向にある。

自然動態をみると、出生数は2003年の429人をピークに減少し、2020年には300人となっている。その一方で、死亡数は2003年には187人であったが、以降増加の一途をたどっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は2003年には242人であったが、2020年には78人となっている。

今後も人口減少や少子高齢化が進むことで、地域における担い手不足やそれに伴う地域産業の衰退、まちづくりのパートナーである地域自治組織は加入者の減少等、地域自治活動を維持しづらい状況となる等、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、町民の結婚・妊娠・出産・子育ての希望の実現を

図り、自然増につなげる。また、移住を促進するとともに、安定した雇用の創出や地域を守り、活性化するまちづくり等を通じて、社会減に歯止めをかける。

なお、これらの課題に取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 こどもの健やかな育ちを支えるまちづくり
- ・基本目標 2 災害に強く安全なまちづくり
- ・基本目標 3 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり
- ・基本目標 4 健康で安心して暮らせるまちづくり
- ・基本目標 5 誰もが輝くまちづくり
- ・基本目標 6 環境にやさしいまちづくり
- ・基本目標 7 にぎわいと交流のまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	保育サービス（保育所など）に関する満足度	80.1%	81.0%	基本目標 1
	子育て支援（相談、教室など）に関する満足度	84.1%	85.0%	
	児童館・児童クラブに関する満足度	75.3%	81.0%	
	年少児以上の幼児教育・保育の実施率	99.9%	100%	
	自己肯定感を高めた児童生徒の割合（全国学力・学習状況調査）	児童 +5.3 生徒 +8.4	全国平均 +3ポイント	
	主体的な学びの実現に向けた事業改善に取り組んでいる教師の割合（児童	小学校 88.8 中学校 85.5	90.0%以上	

	生徒学習意識等調査)	%		
	学校の教育施策の取組に関する満足度 (海田町学校教育意識調査)	小学校87.0% 中学校85.0%	90.0%以上	
	学校教育施設の整備状況に関する満足度 (ICT環境)	—	80.0%以上	
	学校教育施設の整備状況に関する満足度	66.5%	70.0%以上	
	青少年の健全育成の取組に関する満足度	77.0%	80.0%以上	
イ	地震・水害などに対する安全に関する満足度	54.0%	57.0%	基本目標 2
	災害によって亡くなられた人の数	0人	0人	
	自主防災組織への支援に関する満足度	72.2%	75.0%	
	避難所等などの整備状況に関する満足度	57.8%	60.0%	
	犯罪認知件数	177件	120件	
	交通事故発生件数	44件	24件	
	特殊詐欺認知件数	6件	0件	
ウ	居住環境が良くなったと感じる住民の割合	35.7%	40.6%	基本目標 3
	街並み・景観の状況に関する満足度	80.0%	93.2%	
	都市計画道路整備率	41.6%	43.3%	
	幹線道路の整備状況に関	70.0%	72.0%	

	する満足度			
	町内循環コミュニティバス利用者数	33,361人	42,000人	
	交通安全への取組、安全な環境に関する満足度	68.9%	70.0%	
	公営住宅の整備状況に関する満足度	59.5%	65.0%	
	地区の住みよさについて住みよいと感じる人の割合	86.6%	88.3%以上	
	1日を超える断水事故発生件数	0件	0件	
	公共下水道(汚水)普及率	99.4%	99.8%	
エ	困ったときに身近に相談する窓口・相談できる人がいると思う人の割合	94.7%	維持	基本目標 4
	健康寿命の延伸	男性79.79年 女性84.14年	平均寿命の増加分を上回る 健康寿命の増加	
	健康づくりの推進に関する満足度	80.2%	85.0%以上	
	要支援1及び要支援2の認定率	4.29%	4.5%未満	
	介護保険・高齢者福祉サービスに関する満足度	68.2%	70.0%以上	
	障がい者就労施設から一般就労へ移行した人数	4人	35人	
	福祉サービスに関する満	70.1%	85.0%以上	

	足度			
オ	社会教育施設利用者延べ人数	175,181人	210,000人	基本目標 5
	生涯学習関連施設や学習機会に関する満足度	83.5%	85.0%	
	旧千葉家住宅見学者数	5,683人	5,000人	
	織田幹雄記念館来館者数	12,865人	10,000人	
	歴史的資源の保存・活用に関する満足度	87.5%	87.5%	
	文化スポーツ協会の延べ講座生数、団体会員数	2,076人	2,200人	
	スポーツ施設や活動機会に関する満足度	70.2%	75.0%	
	一人ひとりが人権を大切にされているまちだと思う人の割合	23.1%	30.0%	
	男女共同参画社会に向けた取組に関する満足度	75.6%	現状値以上	
	多文化交流を推進する取組に関する満足度	73.6%	75.0%	
カ	地球温暖化対策の取組に対する満足度	47.9%	60.0%	基本目標 6
	住民一人当たりごみ排出量	187kg	180kg	
	資源化率	16.9%	18.5%	
	ごみの不法投棄件数	66件	50件	
	山、川や海、水辺のきれいさに関する満足度	71.7%	80.0%	
キ	自治会組織数	43団体	43団体	基本目標 7

	総観光客数	223,302人	230,000人以上
	昼間人口	29,521人	31,900人以上
	町内総生産額	1,412億円	1,500億円以上
	地域経済循環率 (生産(付加価値額)／分配(所得))	107.1%	100.0%に近づける
	労働力率(労働力人口／15歳以上人口×100)	64.9%	65.0%以上

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例(内閣府)：【A2007】

① 事業の名称

海田町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア こどもの健やかな育ちを支えるまちづくり事業

イ 災害に強く安全なまちづくり事業

ウ 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり事業

エ 健康で安心して暮らせるまちづくり事業

オ 誰もが輝くまちづくり事業

カ 環境にやさしいまちづくり事業

キ にぎわいと交流のまちづくり事業

② 事業の内容

ア こどもの健やかな育ちを支えるまちづくり事業

安心して妊娠・出産・子育てができるよう、これまでの取組を踏まえつ

つ、「かいた版ネウボラ」を中心とした妊娠期からの切れ目ない子育て支援の充実、学校教育の充実、子どもが健やかに育つ環境の整備に取り組み、『子こどもの健やかな育ちを支えるまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・ 「かいた版ネウボラ」による妊娠期からの切れ目ない支援
- ・ 小中一貫教育のさらなる充実
- ・ 教育の ICT 化をはじめとする、教育環境の整備 等

イ 災害に強く安全なまちづくり事業

ハード・ソフトの両面で災害に備え、また防犯面でも安心して暮らしていけるよう災害の防止、災害対応の充実、暮らしの安全・安心の確保に取り組み、『災害に強く安全なまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・ 土砂災害・水害・津波対策の推進等
- ・ 犯罪が起きにくい公共空間の環境整備の推進 等

ウ 地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり事業

本町の恵まれた立地条件を生かした計画的な土地利用の推進、都市基盤の整備、快適な交通網の形成促進、快適な生活環境の整備促進、持続可能な上下水道の運営に取り組み、「地域特性を生かした基盤整備によるまちづくり」を進める。

【具体的な事業】

- ・ 道路施設の適正な維持管理
- ・ 住民の生活の基盤となる交通手段の維持・確保
- ・ 公園の整備・充実 等

エ 健康で安心して暮らせるまちづくり事業

これまでの「支え手」「受け手」という関係を超えて、住民一人ひとりや地域の多様な主体が、年齢や障がいの有無等に関係なく、共に支えあう「地域共生社会」の実現に向けて、地域福祉や健康づくりの推進に取り組み、誰もが『健康で安心して暮らせるまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・ 多様な福祉サービスの提供体制の充実

・ライフステージに応じた健康づくりの取組促進 等

オ 誰もが輝くまちづくり事業

誰もが自分の夢や希望を持ち、まちづくりの担い手として、挑戦・活躍していけるよう、必要な仕組みづくりに向け、生涯学習の推進、歴史文化の継承、芸術文化・スポーツの振興、人権尊重と男女共同参画社会の形成、多文化共生社会の形成に取り組み、『誰もが輝くまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・企画展やイベント
- ・芸術文化活動・スポーツ活動の充実 等

カ 環境にやさしいまちづくり事業

地球温暖化による環境問題は深刻さを増しており、本町においても、豊かな自然環境の保護はもとより、自然と人の共生に向け、地球温暖化対策の推進、環境保全と循環型社会の形成、自然に親しむ環境の整備に取り組み、『環境にやさしいまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・公共施設等における温暖化対策の推進
- ・海田総合公園の整備推進 等

キ にぎわいと交流のまちづくり事業

関係機関等と連携しながら、事業者等にとって魅力的なまちを形成することにより、商工業の振興を行い、雇用の場の確保に努める。また、町内の様々な地域資源をさらに磨き上げ、魅力を発信することで、関係人口の増加を図るとともに、地域活動の活性化を積極的に支援し『にぎわいと交流のまちづくり』を進める。

【具体的な事業】

- ・地域資源を活用したイベント
- ・県、商工会や企業等との連携強化 等

※なお、詳細は第5次海田町総合計画後期基本計画のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

500,000 千円（2026 年度～2030 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

毎年度 11 月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式 W E B サイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

2026 年 4 月 1 日から 2031 年 3 月 31 日まで